田尻だより

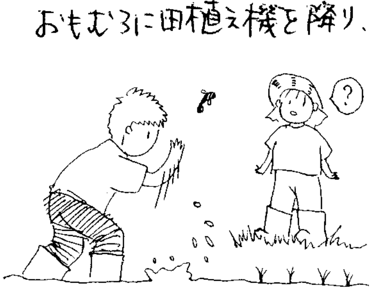
平成18年
6月号
Vol. 39

次回の田尻便りは
7月発行予定！

いよいよ梅雨の季節に突入ですね。きらきらと光る水面に、まだ幼い苗がいっぱいに葉を広げています。

今年の五月は日照量が少なく、例年の6割程度しかないそうです。少し心配な今年のスタートですが、持ち前の力強い生育で乗り切ってほしいです。

田植え機械に乗りながら、「ずいぶんドジョウが多いなあ」と皇貴くん。何を思ったのか、おもむろに田植え機を降り、



いきなり水面をバシャッ。

〔ドジョウ〕

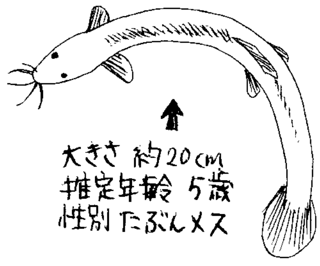
ドジョウは泥鰌と書くように、田んぼ、水路、沼などの泥の中に住んでいます。そのため、普段はどこにいるのか全く分かりません。私たちも、代掻き（しろかき）をして初めてたくさんいることに気付きます。

ドジョウは面白い姿形ですが、れっきとした魚、コイの仲間です。魚ですからエラ呼吸ですが、冬になると湿った土中で皮膚呼吸をしながら冬眠するという、まるでカエルのような水陸両用(?)の魚です。

一方で、ドジョウはメダカやホタルの様に農薬にとても敏感な生き物と言われており、全国各地で田んぼにドジョウを戻す取り組みが行われています。

強いのか弱いのか…、とても不思議な生き物ですが、一生を泥の中で過ごすからこそ、土の豊かさに最も敏感なドジョウなのでしょう。

飛んできたのは、ビッグサイズの大きなドジョウ!!



大きさ 約20cm
推定年齢 5歳
性別 たぶんメス

深く耕さないからこそ、何年も越冬できたのでしょうね。

米暦 〜こめごよみ〜

5月8日〜17日	表層代掻きをしました。
5月13日〜19日	田植えをしました。

今年は春先に雨が多く、田んぼにたくさん草が生えてしまったので、いつもより丁寧に代掻きをしました。
また、田植えの週は1週間好天が続いたので、その間に大急ぎで田植えをしました。その後は雨が続いています。

嫁日記

農家の嫁になる、というのは、やっぱり大変なことだ。私は元々から農業が好きだったけれども、それとこれとはやっぱり違う話だ。

＊＊＊

「自分の夢」を追求させる現代教育の中には、「看護婦」はあっても「農家の嫁」はない。職業ではないからだ。いつから教育は「夢＝職業」になってしまったんだろう。そんな中で育った自分には、農家の嫁を選ぶことが無限の可能性を消してしまうようにすら感じられ、道を選ぶことはとても苦しかった。

＊＊＊

昔と今は違う。昔の苦労、昔も今も変わらない苦労もあれば、今だからこそ感じる痛みだって、嫁にはあるのだ。

絵と文／小野寺ひかる